

調査研究企画書

1. 調査研究名

高山市におけるヘルスツーリズムの構築に向けた調査研究

2. 目的

高山市（飛騨高山）は、国内外から年間約473万人の観光客が訪れる観光都市であるが、半数を超える52%の観光客は宿泊を伴わない日帰り客である（※1）。また、観光客の多くは市街地中心部の古い町並に集中する傾向があることから、新たな観光サービスの提供などにより滞在型・周遊型観光を推進し、市域全体で観光消費を高めていく必要がある。

一方、新型コロナウイルス感染症の流行を機に健康を意識する人々が増加しているとの調査結果が多数あることから、高山市が有する地域固有の資源を活かしたヘルスツーリズムを構築することで、多様なニーズに応じた付加価値の高い観光サービスを提供できる可能性がある。

こうした状況を踏まえ、飛騨高山版ヘルスツーリズムの構築に向け、市内各地域に存在する様々な地域資源をヘルスツーリズムの観点から調査するとともに、調査の結果を踏まえて、高山市が目指すべきヘルスツーリズムのあるべき姿を策定する。

（※1）平成31年・令和元年 高山市観光統計

3. 調査研究の方法・内容

（1）ヘルスツーリズムに関する基礎情報の整理

ヘルスツーリズムの構築に必要な要素、他地域における先進事例、ヘルスツーリズムを推進するための体制や課題などの基礎的な情報の把握・整理を行う。

（2）地域資源の調査

（1）の結果に基づき、高山市が有する森林、温泉、高地環境、味噌や漬物などの発酵食品をはじめとする伝統的な食文化など、ヘルスツーリズムに活用可能と考えられる地域資源について、文献調査や現地調査等を行いリスト化する。

リスト化した地域資源について、ヘルスツーリズム資源としての強み・弱み等の評価・分析を行い、高山市のヘルスツーリズムに関するポテンシャルを考察する。

（3）飛騨高山版ヘルスツーリズムの方向性の検討

（2）の結果を踏まえて、高山市が目指すべきヘルスツーリズムのあるべき姿（テーマ、戦略、必要な機能や体制など）の仮説を導出する。

(4) 調査研究成果の報告

高山市の観光行政及び観光関係団体等の関係者が出席する会議において、上記(1)から(3)の調査研究成果の報告を行う。

4. 調査研究委託費（予定額）

90万円（税込）を上限とする。

5. 成果品

3(1)(2)(3)に関する調査研究報告書（データ納品）

6. 履行期限

令和4年2月28日（月）

7. その他

この調査研究の成果を踏まえ、令和4年度以降に飛騨高山版ヘルスツーリズムプログラムを構築するための具体的な調査研究を行う予定である。

8. 担当（連絡先）

一般財団法人飛騨高山大学連携センター 主任研究員 松井 萌

〒506-0032 岐阜県高山市千島町900-1

飛騨・世界生活文化センター内

TEL : 0577-57-5366 FAX : 0577-57-5377

E-mail : hidatakayama@renkei-center.jp

